

到達レベルについて

1) 知識に関する到達レベル

A：病態の理解と合わせて十分に深く知っている。

B：概念を理解し、意味を説明できる。

2) 技術・技能に関する到達レベル

A：複数回の経験を経て、安全に実施できる、または判定できる。

B：経験は少数例だが、指導者の立ち会いのもとで安全に実施できる、または判定できる。

C：経験はないが、自己学習で内容と判断根拠を理解できる。

3) 症例に関する到達レベル

A：主治医（主担当医）として自ら経験した。

B：間接的に経験している（実症例をチームとして経験した、または症例検討会を通して経験した）。

C：レクチャー、セミナー、学会が公認するセルフスタディやコンピューターシミュレーションで学習した。